

産業界出身教員育成研修 カリキュラム

インストラクションデザインから見た教材の評価  
～ 授業計画・教材の評価と改善～

# 演習のゴール

- 企業内教育と大学教育との違いを認識し、授業実施のノウハウを得る
- 教育の設計、評価についての基本を理解し、担当する授業への応用方法を確認する

# 演習の目的と実施内容

- 演習の目的
  - 授業計画の内容をIDに照らし合わせて問題がないかチェックする
  - 授業の実施方法についてアイデアを出し合い、気付きを得る
  - 講師経験のある人からアドバイスを受けることで、より工夫された授業を行うことができるようになる
- 演習の実施内容
  - 各受講者が作成してきた授業計画を相互にレビューする
  - 各チームのレビューでの気付きを簡単に整理し、発表する

# 演習のスケジュール

- 13:00 ~ 13:10 演習の進め方について説明
- 13:10 ~ 15:25 相互レビュー(45分×3人/チーム)
- 15:35 ~ 16:00 各チームから気付きを発表、まとめ

## チーム構成

- 人数は、3名 + 講師1名を標準とする
- チーム数は、3チーム以内

# レビューの対象

- 事前に提出していただいている以下の内容についてレビューする
  - 授業の目的と意義
  - 企業教員に対する大学側の期待
  - 具体的なゴール
  - 授業の各回の実施内容
  - 成績評価方法
  - 授業の実施時期、時間帯、人数、環境、機材

# レビューでのポイント

- シラバスには必要なことが漏れなく書かれているか
- 学生のレベルに合った授業内容になっているか
- 大学側との調整、事前の調査は十分か
- 初回の授業内容は適切か
- 学生の主体的な学びが覚醒するような工夫はあるか
- 教材に学生には分からないような略号などは使われていないか
- 教材に倫理や著作権に反する表現はないか
- 学生からの問い合わせ先、問い合わせ方法は明記されているか
- 成績評価の方法は適切か
- 授業評価方法が授業設計に盛り込まれているか